

令和7年度脱炭素型
ライフスタイル構築に向けたキャンペーン事業
～大学生ワークショップ報告書～

2026/2/5

<大学生ワークショップ>実施概要

- 期間 : 2025年6月～2026年1月
- 会場 : 千葉商科大学
- 参加者 : 学生環境団体SONE
(1回あたり最大20名ほど参加)
- 実施内容 : イベント企画の流れの説明、参加者とのディスカッション
ブース出展内容の協議検討、企画プレゼンテーション
エコメッセちば当日の運営対応

<大学生ワークショップ> 実施概要

6/12

第1回WS

企画基礎



事務局よりイベント企画の概要と、企画検討における「自分ごと化」の重要性を説明。

7/23

第2回WS

方向性検討



エコメッセちばへの出展を見据え、ターゲット層や実施の方向性について参加者全員で協議・検討。

8/19

第3回WS

企画設計



グループワークを通じて出展内容を具体的に検討。集客やコンテンツ設計等の企画詳細を協議。

9/11

企画発表会

企画発表・選定

グループ名	得点
A) あなたのランクは？目標せ「#環境王」	20点
B) O×で体験！一瞬を切り、これから考えよう〜	9点
C) エコまちがいきがし	8点
D) You can take action!	3点

計4グループが企画内容をプレゼン。コンペティション形式で審査を行い、企画方向性を決定。

10/19

エコメッセちば

企画実行



決定した方向性に基づき制作されたブースにて、集客や運営の対応を経験。

<大学生ワークショップ>企画発表アイデア

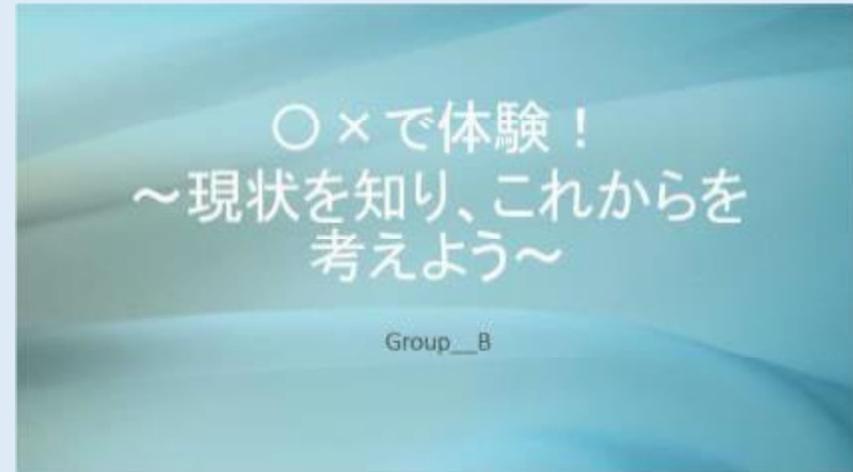
■A班

⇒アンケートによるランク付け、パネルでの記念撮影



■B班

⇒〇×ゲーム、アドバイスシートの配布



■C班

⇒間違い探し、印象に残った部分のアンケート



■D班

⇒問題に対して自分ができていることを考えるワークショップ



企画発表会における最多得票企画 <グループA>

■テーマ：あなたのランクは!?目指せ「#環境王」

■ターゲット：SNS利用者(若年層)、家族、親子、環境に興味のある人

■期待される効果：

- ・省エネや環境保護は気軽にできるものなんだ、やってみようという意識改変
- ・「自分ごと化」

■実施内容：

1. 来場者に家庭内でできる省エネをテーマにアンケートを行う。
2. アンケートの項目ごとにCO₂排出量や効果を知ってもらい、身近でも省エネ、地球温暖化対策への貢献を意識してもらう。
1. アンケート結果から点数をつけ、点数によってランクを決定
2. ランクごとに「#私は環境王」のようなランクを5種類に分ける
3. 最後にランクのパネルとともに記念撮影を行ってもらい、エコメッセ、省エネ、企画のタグをつけてSNS投稿してくれた人に景品を用意(顔出しをしなくても可)



<大学生ワークショップ>アンケート結果

Q1 本プロジェクトに参加した感想

- 自分たちが今できることをみんなで話し合い、楽しく活動することができ、また機会があれば参加したいと思うプロジェクトでした
- 短く端的に伝えることで時間のない方々にも興味を持ってもらいやすくなり、言葉選びの重要性を実感した
- 来場者の方々と話しながら、自分たちへの発信の仕方や環境への伝え方を実践的に学ぶことができた。
- 話を重ねるうちにはっきりとしたビジョンが見えてきた時はモチベーションが上がりました。
- 当日の運営では、大きな写真スポットによって、子供から大人まで多くの方が集まり、体験してもらうことができてうれしかったです。
- 人で混みあったり、大人数で来ていただいたときは、説明に時間がかかってしまい、もう少し効率良くできるように改善が必要であると感じました。
- 多くの方の笑顔が見れたり「勉強になった」と言ってもらえたりと、運営に携われてよかったと思った。
- 他の人がどのように脱炭素について取り組みをしているかも知ることができ、脱炭素について見直せる良いきっかけになった。
- 企画を考えるワークショップが一番印象に残っており、実施内容・期待される効果・ブースを出た後の感情など、色々考えることができたのが良かったと思う。
- 脱炭素についての自分の考えを見直すとともに、他の人の行動や意識にも触れることができた。
- みんなで普段の生活でやっていることや、環境への対策を話し合ったことで、より自分ごと化できて主催者だけど環境について深く考えることができました

<大学生ワークショップ>アンケート結果

Q2 本プロジェクトに参加して学んだこと、気づいたこと

- 若者の環境への興味が低いという現状に対して、行動変容や意識を変えたりさせることは難しい
- 環境問題へのアプローチ方法やエコメッセ当日他団体の取り組みなどを実際に体験し、見て学べた
- 自分ごと化するというキーワードは今後環境問題だけでなく私生活でも考え方の根底にできるものと学んだ
- 実際に参加してみると、体験して理解できるブースやクイズに答えて特典をもらうブースなど、必ず印象に残せるようなブース作りをしていると気づきました。「何をするか」も大事になりますが、基本となる「覚えてもらう」ことも重要なポイントだと改めて気づかされました。
- プロジェクトにはどのような順序立てや整理の仕方が必要かや、当日の誘導や説明等、勉強になりました
- ワークショップを通じて、たくさんの考え方に触れ、新しいものの見方ができるようになりました。
- チームの考えを発表する際に、一度ブラッシュアップしてみることで、実現の難しい部分や、もう一度構成し直す必要があるところなどに気付くことができた。
- 発想から実現までもっていくことの難しさと楽しさを学ぶことができました。
- 実際に人とかがわっていると自分には思いつかないような、新たにできる取り組みがあるのだと感じた
- イベント企画におけるキーワードとして「自分ごと化」することが重要だと知れた
- 来場者が立ち寄りやすくするために、ブースの人数を少なめにするなどの工夫が必要だと感じた
- 今回の活動を通して、伝え方や場の雰囲気づくりの大切さに気付くことができた